

人権特設相談所

日常生活や身の回りの人権問題について、人権擁護委員が相談を受けます。相談は無料で、秘密は厳守します。

●日時／11月20日（木）13:00~16:00

●場所／清水会館

電話による人権相談窓口

みんなの人権 110 番（さまざまな人権問題）

☎ 0570-003-110

こどもの人権 110 番（いじめ・虐待など子どもの人権問題）

☎ 0120-007-110

考えてみませんか、私の人権、あなたの人権。

人権だより

総務課（吉備庁舎）

電話 22-3291

ファクス 52-3210

違いを楽しむ

人は肌や髪・目の色、体格、言葉、暮らす場所、宗教など、さまざまな違いを持っており、一人として同じ人はいません。しかし、その僅かな違いから差別や偏見が生まれることがあります。

8月31日（日）、人権講演会でアメリカ人と日本人のミックスルーツを持つ副島淳さんのお話を聞く機会がありました。副島さんは小学生のときに2度転校しましたが、その2度目の転校先でひどいいじめに遭われたそうです。「今いる場所だけが世界の全てではない」と気付くのは、ずっと後のことでした。その後、バスケットボールに打ち込み、社会に出て多くの人と出会う中で、苦しみや喜びの経験が今の自分を形作っていることを実感されたと語られました。

いじめてきた同級生が大人になって気軽に声を掛けてきても、当時の思いは心に残っています。表面上は普通に話をしていても、これからどう付き合うかを決める決定権は自分にあります。



人権講演会の様子（副島淳さん）

人権機関有田川理事 亀井道子

皆さんも、これまでにいろいろなことを経験されてきたことでしょう。思いどおりにならないことや想定外の出来事もあったはずですが、しかし、その一つ一つの経験が今の自分をつくり上げています。そして、これからもどう行動し、どう選ぶかを決めるのは自分自身です。（時には間違った決定をすることもありますが）

副島さんは「感受性（心）は経験からつくられる。だから一人として同じものはない」と伝えてくれました。互いの違いを認め合い「みんな違って、みんないい」といえる社会を目指したいですね。

女性に対する暴力をなくす運動

毎年11月12日～25日の2週間は「女性に対する暴力をなくす運動」実施週間です。

配偶者や恋人からの暴力（DV）・性犯罪・職場でのセクハラ・ストーカー行為など、女性に対するあらゆる暴力は人権を侵害する重大な問題であり、決して許されるものではありません。

もしも身近な人やご自身が暴力に悩んでいるときは、一人で抱え込まずに、相談してください。

●みんなの人権 110 番

☎ 0570・003・110

・受付時間／平日8時30分～17時15分

※10月1日（水）から「女性の人権ホットライン」は、「みんなの人権 110 番」に統合されました。

●DV 電話相談ナビ

☎ #8008

●性犯罪被害相談電話（警察）

☎ #8103